

第 2 回摂津市デリバリー方式選択制中学校給食検討委員会の概要について

開催日時 : 平成 2 5 年 8 月 3 0 日 (金) 1 5 時 ~ 1 6 時 3 0 分

開催場所 : 摂津市役所 本館 3 階 3 0 1 会議室

出席委員 : 保護者代表 尾崎 美穂 委員
摂津市学校給食会会長 敷本 悟 委員
中学校校長会代表 筒井 豊 委員
中学校教頭会代表 竹田 浩昭 委員
小学校栄養教諭代表 西村 ゆり子 委員
食育担当中学校教諭代表 濱西 加代子 委員

委員変更 : 藤井華子委員より予定が合わないため委員辞退の意向
保護者代表として味舌小学校副会長吉田和美様に委員を委嘱

議 事 :

- (1) 第 1 回検討委員会概要説明
第 1 回摂津市デリバリー方式選択制学校給食検討委員会の概要について
- (2) デリバリー方式中学校給食の保管・提供方法について
- (3) 各中学校配膳室について
- (4) 委員からの要望書について

デリバリー方式選択制中学校給食検討委員会委員名簿 資料 1
第 1 回デリバリー方式選択制中学校給食検討委員会概要 資料 2
デリバリー方式中学校給食搬入・保管方法資料 資料 3
デリバリー方式中学校給食保管方法詳細資料 資料 4
中学校給食配膳室関連資料 資料 5 ~ 8
中学校給食実施に伴う購買部について 資料 9
中学校給食についての保護者要望書 資料 1 0
保護者要望書に対する方針・回答 資料 1 1

<事務局より説明事項>

- 上記資料1をもとに委員の変更について
- 上記資料2をもとに前回の検討経過について
- 上記資料3をもとに配膳までの温度管理、衛生管理について説明
- 上記資料4をもとに提供までの保管方法について説明
- サンプルをもとに保温コンテナの説明
- 保管方法についての論点の説明
 - 1. 温蔵庫、冷蔵庫を配膳室に配備するか。
 - 2. 保温コンテナは標準用か保冷材・蓄熱材入りにするか。
 - 3. その他
- 上記資料5、6をもとに配膳室基本条件、近隣視察自治体の配膳室設置状況
- 温蔵庫、冷蔵庫等の設置費用について
- 上記資料7、8をもとに各中学校配膳室候補について
- 上記資料10、11をもとに要望書について説明

(主な意見等)

◆温蔵庫、冷蔵庫について

- 給食として確実に外せないのは温度管理で、子ども達に衛生的で安全な給食を提供するのが大前提となっている。温度管理に不安が残るコンテナでの配送だけではなく、学校に温蔵庫・冷蔵庫の整備を希望する。

- 平成19年度当時の吹田市で経験した話で、当時の業者は八尾から運んできており、交通事情によってギリギリに来られたり、早く来られることもあった。温度管理はかなり重要なので、大変な設備投資だが、子ども達のためなので温蔵庫・冷蔵庫で管理するのが安全で安心な提供方法だと思う。当時の吹田市も中学校給食の先駆けで不安だったが、きっちりとした設備を整えることで安心な提供ができたと思う。

- 保護者は中学校にお弁当を持って行かせているが、保温環境をととても気にしている。昔に比べて学校にエアコンがあるので多少は安心ではあるが、保冷材をたくさん入れたり、おかずを気にして入れている。デリバリーの給食として出すのであれば安全面は優先的にすることと、何かあってからでは遅いので費用はかかるがより安全である方をお願いしたい。

- お弁当を保温コンテナから温蔵庫・冷蔵庫に移し替える際にも温度管理の面で工夫ができるのであれば、安全第一を考えるため温蔵庫・冷蔵庫を配備してもらいたい。

◆保温コンテナについて

- 交通事情は毎日のことなので、保冷材入りのコンテナにするに越したことはない。温蔵庫、冷蔵庫等の設備を完備するのであれば、衛生管理を徹底的にするべきだと思う。
- 学校に届いてからの温度管理も必要だが、出来上がってからの管理も必要となるので、より温度管理ができる状態で運んで来てもらいたい。
- 保温コンテナのままでの保管ではなく、各配膳室に温蔵庫、冷蔵庫を配備し、保温コンテナについては保冷、蓄熱で温度管理をしていくことでよいか。
また、第一回検討委員会からの協議していた提供方法については、保温コンテナから温蔵庫、冷蔵庫に移し替えて、保管し、主食と汁物は温かく、副食は衛生管理上冷たく提供することでよいか。(委員長)

【各委員、特に異議なし】

◆配膳室について

- 吹田市の方式であれば、動線が取れていて出入口がはっきりしている。食券の確認もスムーズにできると思う。

◆購買部について

- 中学校給食をするから購買部を廃止にするわけではなく、長年働かれていた方が辞められる時期でもあり、また、現状コンビニ等で購入して持参してくる生徒も多くいるためでもある。体操服等については担任等で対応が可能である。
- パンやおやつを買えることは子ども達の楽しみとなっている。全員給食であれば必要ないと思うが、当日お弁当を忘れることもあるので、縮小でもよいのであればありがたい。
- 現在中学校で食堂を運営していて、PTA で補助をしている。デリバリー給食が始まった時点での食堂の廃止については、長年働かれていた従業員の方には伝えていて、食堂の代わりになる中学校給食が始まるのであれば、ありがたいことだと理解もしてもらっている。今後の配膳員の雇用の際は、子どものことを誰よりも理解している食堂の従業員の方にやってもらえたらと考えている。
- 今までも子どもがお弁当を忘れた際に、購買部があつて助かったことがある。もし購買部が無いと体操服等を店で購入しないといけないので、学校で必要な物が学校で買えるのは、誰にとっても便利なことだと思う。

- 食育の観点からは、家からのお弁当の補助としてパン等を活用するのであれば問題はないと思う。補助ではなくメインになってしまったり、選択肢が多いと、菓子パンやジュース等好きな物を買うことになってしまうので、非常に難しい問題である。

- お弁当を家で作って持って行ける環境と家庭の事情で持って行けない環境の子どもがいると思うが、市や学校で比率は違うと思う。市として、お弁当を作ってもらえない環境の子どものためにも食育という意味で助けてあげる必要があるが、デリバリー給食と購買部のどちらに比重を置くのかは難しい。ただ選択肢が多いほうが子どもにとっては良いと思う。

- 給食は小学校から嫌で中学校では好きな物や母親の物が食べられると思う子と、逆に忙しくお弁当が作れず毎日パンやコンビニで買う子もいるので、デリバリー給食なら自分以外で頼む子がいれば、負担は軽減されるのではないかと保護者の意見もある。購買部の有無については答えを出すのが難しい。

- 家でお弁当を作れないからではなく、パンが食べたいからパンにするという子もいる。毎日パンを食べている子を見ると心配にもなり、1日三食の中で最低一食はきちんと栄養をとってほしい。また、これだけ費用をかけるのであれば、喫食率を考える必要がある。少人数にしか頼まれていないと、頼みづらい環境になる。やるからには3、4割は喫食率を上げる努力はしたい。当日お弁当を忘れた場合は外に買いに行かせないといけないという問題はある。

- 購買部については、委員会での意見を踏まえて、各学校の考え方を尊重していくということによいか。(委員長)

【各委員、特に異議なし】

- (5) 第3回検討委員会開催日程調整
第3回検討会における論点・議題の確認